

広報 まつのやま

1991**11**月号 (No.189)



開場とともにドッと人が押寄せた野菜の即売コーナー（農業祭）



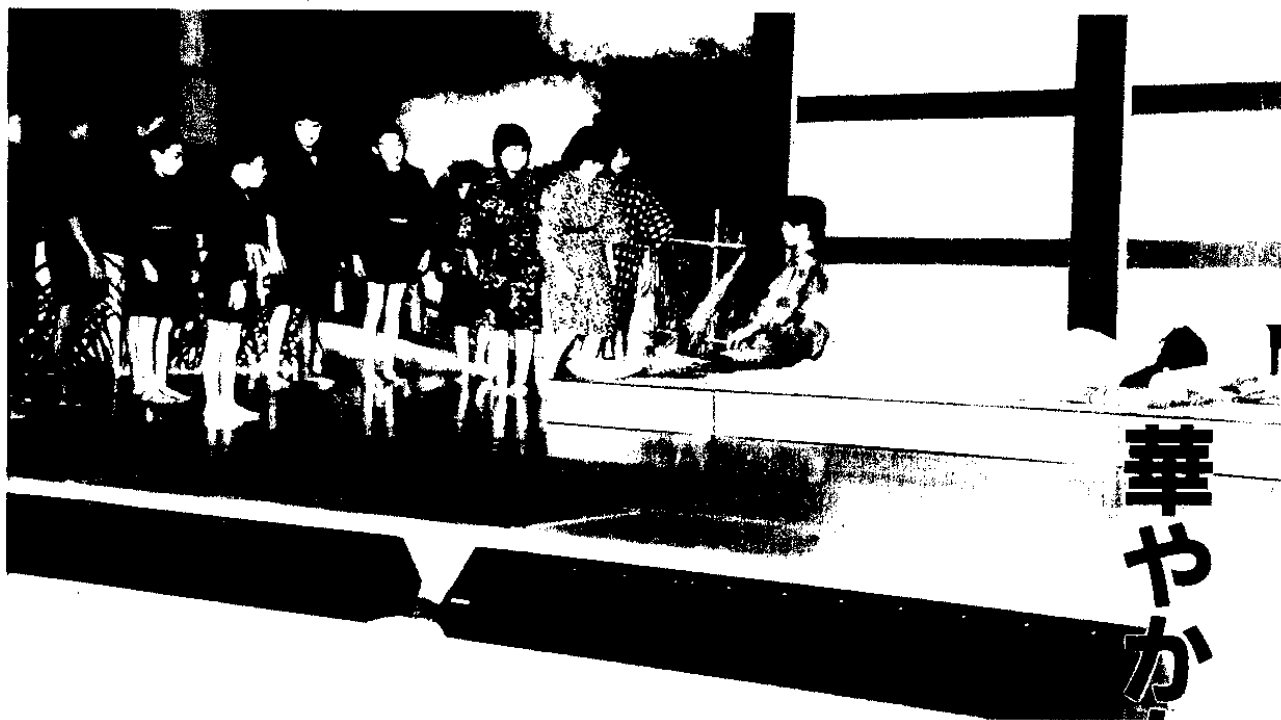
優雅に泳ぐ錦鯉

△△△△ 今月号の話題 △△△△

- 農業祭・芸能祭・美術展…………… 2～5
- 町駅伝大会…………… 6
- 東部地区へき地教育指導者講座…………… 7
- 10月のフォトニュース…………… 8～11
- 集落探訪（上川手）…………… 12・13
- 提言・感想文最優秀賞作品…………… 14
- 公民館だより…………… 16・17

華やかな農業祭・芸能祭・美術展

2



郷土伝承劇「鏡ヶ池」を熱演する東川小学校の皆さん

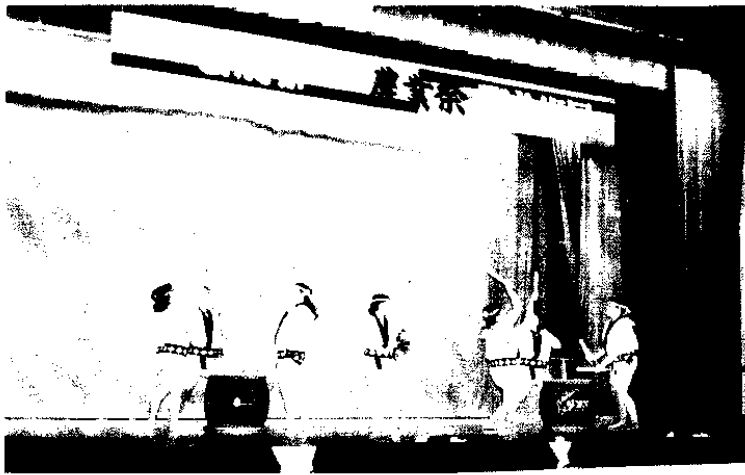
十月二十七日、町農業祭・芸能祭が盛大に開催され、三千人以上の人手でにぎわいました。午前九時より各種即売・各展示場が一斉にオープンし、特に野菜の即売コーナーは人気が高く長い行列ができていました。天候不順による野菜の高値が続いていますが、市価よりも安い地元産の新鮮な野菜は次々に売切れてしまいました。センター前の広場では、手練鉢の即売が行われたり、母子福祉会の皆さんがささやか（不用品）バザーを行っていました。来場する人々を「ドン」という大きな音で歓迎するボン菓子屋は子供たちに人気があり、担当していた青年団の皆さんは汗を流しながら頑張っていました。町民体育館横では錦鯉の展示即売が行われ、優雅に泳ぐ錦鯉やジャンボな食用鯉に歓声があがっていました。町整備組合による除雪機やトラクターなどの展示販売も一日中続けられ、冬を前に熱っぽい商談が飛びかいました。



力作ぞろいの町美術展

また、焼き鳥・焼きトウモロコシ・石焼きいもなどの出店も出て、食欲の秋にふさわしい香りをまわりに漂わせていました。鏡淵りはセンター玄関で十時より行われ、手打ちそばなどの試食は十一時より行われました。センター一階のホールには韓国コーナーが設けられ、民芸品やチマ・チゴブリが展示され、

キムチの試食コーナーもありました。二階の食推コーナーでは、ろへいや汁の試食が行われ、毎回好評の「伝えていきたいわが家の味と香り」には三十八点の出品がありました。二十六日から開催されている町美術展にも多くの方が訪れ、絵画・書道・俳句・生花などを



浦田いちご会の皆さんによる勇壮な豊年太鼓



ソービットさんと保育所のキリン組さんによるタイの踊り「ヌアーム・センドアン」(美しい月の光)



工夫された料理が大人気「伝えていきたいわが家の味と香り」コーナー

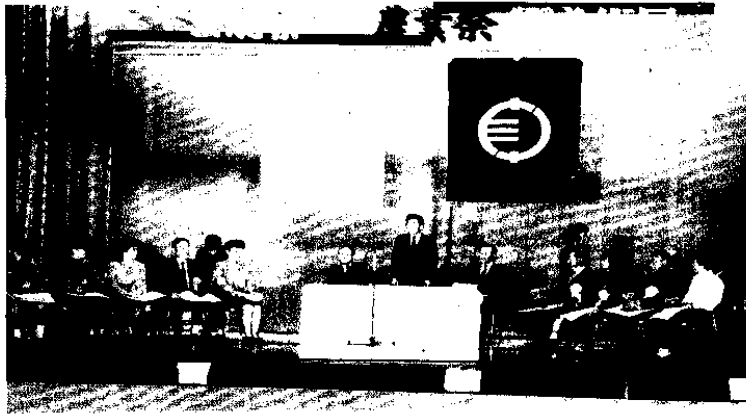
心行くまで鑑賞していました。
 芸能祭は町民体育館で行われ、町内の芸達者の皆さんが日頃の芸を披露し、会場から盛んな拍手を受けていました。
 東川小学校の全児童による郷土伝承劇「鏡ヶ池」は、中尾にある鏡ヶ池の伝説を劇にしたもので、今回で三回目の上演となります。
 前の二回と異なる点は、劇の冒頭に「石投げ甚句」が入り、より多くの児童が劇に出演する

ようになりました。
 児童たちはマイクを付けないで熱演しましたが、会場の雑音に声が消され後の方は全く聞えませんでした。
 翌日行われた町内小中学校芸能発表会では、児童・生徒の皆さんが静かに劇を鑑賞したので後の方でも良く聞えました。
 来年からはもっとマナーを守り、静かに鑑賞してほしいと思います。
 女性の太鼓グループ、浦田い

ちご会」の皆さんによる勇壮な祇園太鼓・豊年太鼓は、腹の底から響いてくるようでした。
 上川手歌舞伎の「義経千本桜 鮎屋乃段」は村歌舞伎とは思えないほど上手で、見せ場になると観客から大きな声援が送られていました。
 体育館の壁には、町内小中学校児童・生徒の書道や絵が展示され、我が子の作品を見つけて喜ぶ親の姿も見られました。



千両役者がそろった上川手歌舞伎



共励会表彰及び提言・感想文表彰

第8回松之山町良質米生産推進共励会成績

入賞順位	出 品 者	品 種 名	10a当たり 精玄米収量	10a当たり 米 代 金
最優秀賞	湯 山 小野塚 満	コシヒカリ	602kg	237,146円
優 秀 賞	〃 樋口 シゲ	〃	591	232,813
〃	松之山 相沢 一郎	〃	589	232,025
〃	西之前 南雲 光利	五百万石	590	230,554
優 良 賞	天水島 小野塚英男	コシヒカリ	547	215,480
〃	〃 滝沢 繁	〃	542	213,510
〃	湯 山 高沢 実	〃	〃	〃
〃	〃 丸山 正昭	〃	532	209,571
〃	〃 樋口 藤夫	〃	529	208,389
〃	湯之島 竹内 多作	〃	525	206,813
〃	黒 倉 山口 長一	〃	524	206,419
〃	中 尾 樋口 栄八	〃	522	205,631
〃	新 田 田辺 彦一	〃	521	205,238
〃	下鰐池 重野 雄城	〃	520	204,844
〃	藤 倉 若月三太郎	〃	518	204,056
〃	湯 山 樋口 芳平	〃	510	200,904

松之山町の将来を考える提言・感想文受賞者

賞 名	住 所 等	氏 名	テ ー マ
最優秀賞	黒 倉	草村 好信	明日のふるさとづくり 私はこう思う
優 秀 賞	藤 倉	小野塚富夫	松之山町の将来を考える
〃	三 桶	志賀美和子	〃
優 良 賞	埼 玉 県	保坂弓美枝	明日のふるさとづくり 私はこう思う
〃	松里小4年	小野塚千恵	松之山の名物品や建物を作ろう
〃	〃	村山 卓也	未来の松之山町
〃	松里小6年	高橋 佳男	将来を考える
〃	松之山小6年	滝沢 香織	自 然
〃	東川小6年	小野塚真紀	松之山の将来について
〃	〃	小野塚茂雄	〃

天候に負けた良質米共励会

すばらしい作品が多かった提言・感想文

松之山町良質米生産推進共励会の表彰式が二十七日、芸能祭の途中で行われ、最優秀賞一名、優秀賞三名、優良賞十二名、奨励賞十二名が表彰されました。今年共励会には四十九名の方が参加し、良質米作りの腕を競い合いました。

春から六月頃までは比較的順調に成育しましたが、七月からの長梅雨、八月の低温、九月以降の長雨と天候に恵まれず、共励会史上最低の成績となつてしまいました。

最優秀賞と比較すると昨年は七〇二kg、今年は六〇二kgと大幅な減収です。圧倒的な出点数(四十五点)を誇るコシヒカリの平均収量は四八七kgと、昨年より八十四kgも低くなりました。

このような悪条件を克服して今回入賞されました方々は、健苗の育成、適切な施肥、水管理による根の活力維持、有効的な病害虫防除などの基本技術を的確に実行し、地域にあった栽培方法で優秀な成績を上げました。

優良賞以上の方々の成績は別表をご覧ください。また、松之山町の将来を考える提言・感想文の表彰式も同時に行われ、応募総数四十二点の中から選ばれた最優秀賞一名、優秀賞二名、優良賞七名が表彰されました。

なお、最優秀賞の作品は月号の十四ページに掲載しました。優秀賞二点については、来月以降掲載する予定です。

ほほえみの国タイへようこそ

農業祭と同じ二十七日、町民グラウンドの管理棟にタイの魅力と文化を紹介するコーナーが設置され、大勢の人手でにぎわいました。

このコーナーは教育委員会のソーピットさんが、タイの大使館や留学生の皆さんに協力を求め実現しました。



ベンチャーさんといっしょに爪踊りを披露したスリーラットさん

一が所狭しと並べられ、訪れた人たちにソーピットさんが一つ一つ説明していました。

試食コーナーで一番人気があったのはエビスープ（トムヤム・クム）でした。

展示された真珠や人形をほしがる子どもや、観光パンフレットを見ながらタイへ行きたくない人など大好評でした。

芸能祭ではタイの踊りが披露され、ソーピットさんと保育所のキリン組さんによる「ヌアム・センドアン」（美しい月の



スリーラットさんといっしょに爪踊りを披露したベンチャーさん 指先に注目！

光）、タイの留学生ベンチャーさん・スリーラットさんの二人による「フオン・レップ」（爪踊り）など、神秘的で華麗な踊りに会場から盛大な拍手が送られました。

青い空と海、黄金の寺院、ほほえみの国タイは、日本との結びつきが強く親目的な国です。

松之山町の国際理解教育講師として頑張っているソーピットさん、東京からわざわざ来てくれたベンチャーさん、スリーラットさんありがとうございました。

優雅な錦鯉品評会

農業祭前日の二十六日、町民体育館横の駐車場で第二十三回錦鯉品評会が開催されました。

高橋平八郎（中尾）
▼各部優勝

町内の錦鯉愛好者十六名が自慢の鯉六十二匹を持ち寄り、各部門ごとに審査が行われました。各部門の入賞者は次のとおりです。

一部（一八センチ未満）
高橋平八郎「紅白」
二部（二八センチ未満）
高橋平八郎「紅白」
三部（三五センチ未満）
山岸敬三郎（新山）「紅白」
四部（四五センチ未満）
樋口幸雄「紅白」
五部（四五センチ未満）
樋口幸雄「三色」

▼総合優勝 「紅白」

久保田寿栄（曾根）

▼総合準優勝 「紅白」

樋口幸雄（湯山）

▼ジャンボ賞 「紅白」



タイの民芸品やパネルが多数展示され試食コーナーもありました

松里Aチーム駅伝十連覇達成

十月十日の体育の日に第十回松之山町駅伝大会が行われ、各地区代表の七チームが健脚を競いました。

コースは昨年と同じ十四区間

二五・七kmで争われ、午前九時合図とともに第一走者が旧浦田中学校前をスタートしました。

三区中継点では松之山Aチームが一步リードしていましたが、この頃から実力を発揮した松里Aチームが後続をぐんぐん引離し、二位布川チームに三分二十三秒の大差をつけて余裕のゴールをしました。

二位争いは布川・松之山A・浦田Aの三チームが激しく順位を入れかえましたが、まず浦田Aが脱落。

布川と松之山Aは十二区まで競り合い、最後は布川チームが逃げきりました。

駅伝終了と同時に開始した健康マラソンには三四一名が参加し、秋晴れのなか気持ち良い汗

を流していました。

成績は次のとおりです。

駅伝大会

▼総合成績

時間・分・秒

優勝	松里Aチーム	1・32・50
準優勝	布川チーム	1・36・13
三位	松之山Aチーム	1・37・56
四位	浦田Aチーム	1・41・36
五位	松里Bチーム	1・41・53
六位	松之山Bチーム	1・46・02
七位	浦田Bチーム	1・47・31

▼区間賞

一区	相沢俊幸(松之山A)	7・35
二区	志賀浩二(〃)	7・08
三区	高橋真也(松里A)	6・45
四区	高橋政信(〃)	7・13
五区	小野塚真紀(布川)	4・18
六区	竹内寛揮(浦田A)	4・23
七区	村山忠男(松里A)	2・50
八区	高橋佳男(〃)	5・23
九区	高橋千春(松之山A)	7・49
十区	田宮晃子(浦田A)	4・00



布川防雪センター前でタスキをリレーする布川チーム

健康マラソンに三四一名が参加

健康マラソン

▼幼児・一般の部(二キロ)

相沢梅子(下鯉池) 4分26秒

▼中学生・一般の部(二キロ)

高沢 平(松之山中二年) 7分07秒

十一区	高沢 平(松里A)	8・00
十二区	村山幸夫(布川)	8・25
十三区	村山 亮(松里A)	9・04
十四区	高沢ひとみ(松里B)	7・30

※新記録

▼小学校低学年の部(二キロ)

小野塚純也(東川小二年)

▼小学校高学年の部(二キロ)

小野塚良康(東川小六年)



親子の参加が多かった健康マラソン
幼児・一般の部

東日本のへき地小学校教員が集合

東部地区へき地教育指導者講座

10月23日～25日



文部省を代表してあいさつする桜井純子
初等中等教育局視学官

十月二十三日から二十五日まで、松之山・松代両町を会場に東部地区へき地教育指導者講座が開催されました。

参加者は北海道・東北・関東中部の二十三都道県内のへき地小学校に勤務する教員で、講師や発表者を含めると三〇〇名以上が集まりました。

一日目の午前に開講式と全体会が町民体育館で行われ、文部省を代表して初等中等教育局視学官の桜井純子氏、新潟県を代表して県教育長の堀川徹夫氏が

あいさつを述べました。

また、地元を代表して村山町長が祝辞を述べました。

午後は音楽・体育・家庭・図画工作・道徳の五部会に分かれ、発表や研究協議を行いました。

二日目の午前は授業参観で、松之山小学校は音楽、浦田小学校は道徳を担当しました。

なお、図画工作は奴奈川小学校、家庭は松代小学校、体育は孟地小学校が担当しました。

松之山小学校で行われた音楽の授業は、パソコンを使った曲

作りや音楽集会でした。

音楽集会では、ソーピットさんの指導によりタイの踊りを全員で踊りました。

見学していた先生方も、児童に手を引張られて踊りの輪に加わり、見よう見まねで楽しそうに踊っていました。

ゲームは班ごとに分かれ、秋に収穫される野菜や果物を取り合いました。

品物によって得点が異なり、ゲームが終ってから品物ごとの得点が発表され、喜ぶ班やがっ

かりする班など、児童たちの元気な声が体育館内に響いていました。

浦田小学校で行われた道徳の授業でも音楽集会が行われ、各教室では児童たちが活発な発言をしていました。

参加された先生方は、少人数でも最大限の教育効果をあげている、松之山町の教育に感心しながら帰って行きました。

これから先進的な教育に取組み、「教育の松之山」といわれるよう頑張ってください。



ソーピットさんの指導によりタイの踊りを踊る松之山小学校の児童たち

きのこ狩り大会

十月六日と十日、大蔵寺高原
できのこ狩り大会が行われ、県
内の方を中心に約二六〇名が参
加しました。

十名・二十名と団体で来られ
た方も多く、参加者の皆さんは
受付もそこに山の中へ入っ
て行きました。

約二時間ほどのきのこ狩りを楽
しみ、採ってきたきのこは松之
山の滝沢博さんと大島村の早川
幸一さんが鑑定してくれました。
食用・無毒・有毒の三種類に

分類するとともに、きのこの名
前と食べ方を参加者に教えてい
ました。

今年の天候はきのこの成育に
も影響を与え、昨年と比較して
量も種類も少なかったようです。
鑑定が終わると、希望館の二
階できのこ料理の昼食をとりま
した。

また、昼食時間を利用して滝
沢さんからきのこ料理の講習を
受け、早川さんからきのこに関
する講演をしてもらいました。



採ってきたきのこを滝沢さん（左端）に
鑑定してもらう参加者

2 商工会創立三十周年記念大会

十月十六日午後、自然休養村
センターで商工会創立三十周年
記念大会が開催されました。

午後一時から第一部の記念式
典が始まり、福原商工会長のあ
いさつのもと表彰式にうつりま
した。

歴代商工会長や特別功労者七
名に感謝状が贈呈され、二十年
以上在職した役員十一名に功
労表彰が行われました。

永年勤続優良従業員表彰は、

十一月十四年の三十九名に対し町
商工会会長表彰、十五・十九年
の十七名に対し上越商工会連絡
協議会会長表彰、二十・二十九
年の二十七名に対し県商工会連
合会会長表彰、三十年以上の四
名に対し全国商工会連合会会長
表彰が行われました。

第二部の記念音楽祭は二時三
十分より町民体育館で行われ、
テレマン室内管弦楽団の優雅な
演奏を聴きました。

第三部の記念祝賀会は四時三
十分よりセンターで行われ、会
場のあちこちに談笑する人の輪
ができていました。



テレマン室内管弦楽団の演奏

3 保育園児に防火指導

十月七日松之山分遣所の皆さんが、松之山保育所の園児とともにゲームをしたり防火指導をしたりしました。

あいにくの雨天で、会場は大

蔵寺高原から町民体育館に変更されましたが、園児たちは元気に体育館内を走りまわっていました。

ゲームでミニ消防衣とヘルメ

ットを着せてもらい、ちびっこ消防士が大勢誕生しました。

人気キャラクターの手作りの

大きなジグソーパズルも、みんなで協力して組立てていました。

お昼にはトン汁のサービスがあり、おにぎりといっしょにおいしそうに食べていました。

4 人形劇は楽しいな



園児たちは人形の動きを興味深そうに見ていました

十月九日午前、町内の全保育所園児が町民体育館に集まり人形劇を楽しみました。

人形劇の前に手や指を使った簡単なゲームを行い、園児たちは一生懸命お兄さんお姉さんの真似をしていました。

ゲームが終わると人形劇「人魚姫」が始まり、人形の動きに興味深そうに見ている園児もいました。

絵本やテレビなどで人魚姫のストーリーを知っていても、上手な話術や人形の動きに引込まれてしまいました。

いました。

出席者は駐在所前で記念写真を撮り、小林所長さんの案内で駐在所内を見てまわりました。

松之山駐在所の竣工により、町内の三駐在所すべてが克雪型になり本当に良かったですね。

5 松之山駐在所竣工

十月二十二日午前、松之山駐在所の竣工式が行われました。

竣工した駐在所は安高松之山分校入口の近くで、高床式の克

雪住宅になっています。

前の駐在所は昭和四十三年に建てられましたが、手狭になったことと雪掘りに大変苦労して



雪掘りの心配がなくなった
新松之山駐在所



手作りのジグソーパズルを協力して組立てました

6 松之山安吾の会結成

十月十九日夕方、町民体育館で松之山安吾の会結成式と夕食会が行われました。

松之山ゆかりの文豪として昭和六十二年には安吾文学碑が建

立され、十月二十日の誕生日を記念して安吾まつりも行われてきました。

文学碑建立から五年目を迎え、これを機会に幅広く町民の皆さ

んから安吾文学に関心を持っていただきたいと思っています。

また、町外から参加された方も五十名ほどおり、自然休養村センターで夜七時三十分より公演された、千賀ゆう子さん主演の「桜の森の満開の下」の一人芝居を観賞しました。

7 診療所が火事だ？



ケガをして逃げ遅れた人を救助する訓練

秋の火災予防運動期間中の十月三十日、松之山診療所から火災が発生したという想定で訓練が行われ、分遣所・本部分団が出動して本番さながらの消火作業にあたりました。

入院患者を運び出す職員や、逃げ遅れた患者を救助に向う消防士、ケガをした人を手当する先生や看護婦さんなど緊迫した訓練ぶりでした。

あつてはならない火災や事故。日頃の訓練を大切にし、火事を出さない努力をみんなですしょう。

8 浦田小で稲刈り

十月四日午後、浦田小学校の学校田の稲刈りが行われました。約十アールの田に実ったコガ

ネモチを、PTAの方たちといっしょに喜びの収穫をしました。稲を刈る者、ハセまで運ぶ者、ハセに架ける者など児童一人一人が一生懸命頑張りました。

農業の機械化で手作業が少なくなりましたが、子供たちにとっては良い体験になりました。十一月十日には文化祭と収穫祭をあわせた「さわらび祭」が行われ、地区ぐるみでモチつき大会を楽しむ予定です。



PTAの方たちといっしょに稲刈りをしました



松之山安吾の会結成式

10 第1回もみじマラソン

十月二十七日、大蔵寺高原を
出発点とする第一回マントパー
クもみじマラソン大会が開催さ
れました。

心配された雨もスタート直前
に上がり、牧場の緑と山々の紅
葉が一段と美しく見えました。

午前十時、管理棟前をスター
トした十五キロコースには男女
あわせて八十名が参加し、津南
町の山伏山森林公園を経由して
ゴールのマントパークをめざし

ました。

また、山伏山森林公園をスタ
ートとする八キロコースにも七
十名が参加しました。

松之山町からは十五キロコー
スに男性二名・女性一名、八キ
ロコースに男性一名が参加し、
十五キロコースで松之山中学校
の小林辰男先生が五十一分十六
秒一で見事三位に入賞しました。
来年はもっと参加者が増えれ
ば良いですね。



大蔵寺高原の管理棟前をスタート



松之山町・大島村境で喜びのテープカット

9 待望の林道牛ヶ鼻浦田線竣工

十月二十二日午前、大島・松
之山町村境で林道牛ヶ鼻浦田線
の竣工式が行われました。

開通式では村山町長、内山大
島村長などが喜びのテープカッ
トを行い、続いて林道の途中に
建立された「鼻蹴峠」記念碑の
除幕式が行われました。

竣工祝賀会は浦田克雪センタ
ーで行われ、両町村の関係者多
数がようやく開通した林道を祝
いました。

この林道は大島村牛ヶ鼻と松

之山町豊田を結び、幅員四m、
総延長七、〇三五m、利用区域は
二五〇haに達します。

大島工区は延長三、七五八mで、
昭和四十三年から昭和四十八年
までに開設されました。

松之山工区は昭和六十一年か
ら着手され、今年までに三、二七
七mが総費用約一億四千万円で
開設されました。

林道開通を記念して建立され
た「鼻蹴峠」碑の裏面には、鼻
毛峠の由来として「古来より上

越と魚沼を結ぶ街道で人馬の往
来も多く、戦国期は上杉家の重
要な軍道でもあった。前を行く
人馬に鼻を蹴られるほど急な坂
道だったので鼻蹴峠と言われた。
現在、鼻毛峠と呼ばれている。」
と刻まれています。

林道の開通は、この地域の林
業を一層振興させるとともに、
鼻毛の池を中心とした観光開発
にも役立つことでしょう。

集落探訪

上川手

歴史と地名

観音寺・坂下・橋詰・藤内名猪之名・古戸の六大字を総称した行政上の集落名が上川手である。

江戸時代中期にはすでに上川手という名称が使用されていたが、基本は観音寺村・坂下村というように村単位であった。

しかし、明治二十二（一八八九）年町村制が施行されると、行政上の基本集落として認められ、これ以後上川手という集落名は一般的になった。

観音寺の地名の由来は、長禄四（一四六〇）年に建立された観音寺に起因すると思われる。

坂下は字のごとく「坂の下」に居村があったことに起因すると思われる。

また、江戸時代から明治初期にかけて、東山村は坂下村の枝村となっていた。

橋詰も字のごとく「橋の詰め」に居村があったことに起因する。

藤内名と猪之名は名主の名を冠した地名である。

名主とは耕作地に対する権利を強めるため、耕作地に自分の名前をつけた名田を所有し経営する有力農民のことである。

古戸については不明だが、天和二（一六八二）年の検地では、家数二軒とも坪野村の掛け持ち名子となっている。

この家（戸）が古くからあったので古戸となったのかもしれない。

橋詰字居村には縄文中期の遺跡があり、土器や石器が多数出土している。

また、橋詰と東川の境に橋詰城跡、猪之名と五十子平の境に高館城跡がある。

観音寺

長禄四年六月、高館城主伊勢肥前守盛富・盛種父子によって開基され、長野県栄村にある常慶院七世智恵天察大和尚が開山となった。

伊勢氏によって再建される以前は、真言宗の寺院であったと言われている。

開基の伊勢氏は室町幕府の申次衆（將軍への申入れを取り次ぐ係）であり、代々肥前守を名乗っていた。

室町幕府の直臣が松之山を治めていたことは、この地方から産出する良質の青芋と深い関係

があったものと思われる。

二十九世龍山玉泉（俗姓保坂・豊田出身）は駒沢大学教授に迎えられ、昭和三十三年八月には駒沢大学総長となった。

寺宝の木造延命地藏菩薩立像は、桐材をもちいた一木造りで彩色がほどこされている。

おおらかな顔立ちや衣紋等から室町末期の作と思われる。



室町幕府の直臣伊勢氏によって開基された観音寺
木造延命地藏菩薩立像・庭園は見ごたえがある

また、本堂裏の庭園には県内では珍しい舟石があり、大きな池には浮島がある。

俳人として有名な小林一茶が観音寺を訪れた際、「浮島や浮き沈みつ松の影」と詠んでいる。

三柱神社

上川手集落の六大字はそれぞれが神社を奉斎してきたが、協議のうえ観音寺・古戸の十二神社（祭神・大山祇命）、坂下・藤内名の諏訪神社（祭神・建御名方命）、猪之名・橋詰の松平神社（祭神・奴奈川姫命）を一社に合祀することで合意し、現在地に社殿を新築、昭和三（一九二八）年九月九日遷宮式を行った。

社名は、合祀された三祭神（三柱）にちなんで三柱神社と命名された。

高館城と橋詰城

高館城跡は猪之名と五十子平の境に位置する標高四二・三mの山城である。

主郭（本丸）を中心に空堀・削平地などの遺構が確認できる。城主は観音寺を開基した伊勢盛富・盛種と伝えられる。

高館城は、松之山から豊原峠

を越えて津南町辰ノ口へ至る街道の監視の重任をもっていた。

橋詰城跡は橋詰と東川の境に位置する標高四五五mの山城である。

高館城と直線距離で一・五kmしか離れておらず、独立した山城というよりは高館城の一支城といえるかもしれない。

大明神用水と 水力発電所

安政五（一八五八）年、浦田口村の田辺与惣治が大明神用水工事に着手し、越道川右岸地域の新田開発を始めた。

工事費用は与惣治が全額負担し、延長三、五〇〇mの一大水路が完成した。

明治二十五年以後、大明神用水は堰組合の管理に移り、大正七年松之山水力電気会社が設立されると、用水路の大規模改修が行われ発電にも利用された。

大正八年十一月、出力五十キロワットの発電所が竣工し、待望の電気が家々に送られた。

太平洋戦争中、企業統制により東北電力橋詰発電所となった。橋詰発電所は昭和二十五年四月廃止となり、発電機は佐渡へ移された。

川手分校

明治六年十一月、観音寺を借りて町内初の小学校が開校した。明治八年松之山に小学校が新築移転となり、川手地区の児童も松之山まで通学していた。

明治三十四（一九〇一）年就学児童の増加により川手分校が新築され、川手地区の初等教育を担ってきた。

昭和五十六年三月、川手分校は児童数の減少により八十年の歴史を閉じた。

撚糸工場

松之山では、農閑期に比較的短期間に高収入を得られる養蚕が古くから副業として行われていた。

これを生かして、繭↓生糸↓織物という工程を何とか地場産業に育てようと努力がなされてきた。

大正初期、川手地区を中心に大小合わせて四十軒近くの織物工場が町内にあったが、第一次世界大戦後の不景気で次々に廃業した。

大正十四年十月、残った企業はお互いに協力体制をとり、松之山撚糸株式会社を設立した。



大恐慌・戦時体制強化による

企業整備も乗り越え、昭和十九年ころには撚糸生産額県下一位の成果を上げた。

しかし、戦後になるとナイロンをはじめとした新素材が開発され、生糸の需要が急速に低下した。

このため撚糸専業から兼業がのぞまれ、昭和四十八年から手書き友禅を始めるようになった。その後手書き友禅が中心となり、昭和五十四年十月には撚糸部門が閉鎖され、松之山の織物工業もすっかり変容したが、青芋以来の伝統は人々の心に今も生き続けている。

石油と天然ガス

石油は「草生水」、天然ガスは「風草生」と呼ばれていた。

上川手では明治時代に石油景気にわき、五〇m間隔で石油井戸が掘られていた。

明治十三年の上半期には十六井戸で一〇〇石近く産出していたが、埋蔵量が少なくなしだいに不採算油井が増加した。

これらの石油井戸は危険防止のため埋められたり、基盤整備の時に埋められたりした。

しかし、現在でも黒い石油が湧出している田もあり、かつての石油井戸から噴出する天然ガ

上川手歌舞伎

スを引いて自家用に使っている家もある。

村々をまわる村芝居の影響で、上川手では早くから歌舞伎が演じられ、太平洋戦争で一時中断したものの昭和二十七年ころまで続いていた。

テレビなどの娯楽が普及するにつれ歌舞伎も跡絶えたが、昭和五十七年かつての歌舞伎仲間が集まり復活した。

演目は「菅原伝授手習鑑」と「義経千本桜船屋乃段」があり、施設への慰問公演・町芸能祭での公演など幅広く活躍している。

川手地区の田畑を潤す大明神用水
大正時代から戦後まで水力発電にも使用された
橋詰の地藏堂境内には「神堰碑」があり、大明神用水建設の立役者 田辺与惣治を顕彰している

最優秀賞受賞作品

松之山町の将来を考える提言・感想文

「明日のふるさとづくり、 私はこう思う」

黒倉 草村好信

町の人口は？ 誰もが現状維持は出来ず、減少の一途をたどると考えているのではないだろうか。

それに高齢化が加わる。

こんなふうに思うと、何をしたら良いのか何もかも億劫になる。

しかし、生きる為に何かをやらなければならない。

このチャレンジの気持ちがあるさと作りの第一歩である。

いろんなアイデアが発想され、企画と分析がなされ、それぞれの分野で実践へと移される。

それでは、どんな事が考えられるのか。

地域活性化と言われる中において、町でもいくつかの計画と実践（特産品・貸農園・ふるさと会員・山村留学等々）が進められている。

これらは行政指導の断片的なものであり、大切な人づくりとグループの構成が出来ないため、行きづまり状態と成っているか

に思う。

某人曰く「町の行政に事務屋は必要なし。コンピュータ・パソコンの時代、委託出来るものは委託し、住民と共に動ける人材が必要である」。

すべてという訳ではないが、可能な面もあると思う。

やはり地域からの盛り上がりが大切であり、それに手を貸すかたちで人作り・グループ作り

に行政の援助が必要となる。

農業と自然を生かした、観光地としての町づくりを目指して、米は作れば良い農業から作って

売らなければならない農業に、一極集中による大都会化と、さらに広がる乱開発が豊かな自然に触れる場所をなくし、観光客は集団移動の形態から、マイカー・小グループにと多様化の様相を益々強めている。

これらは物の豊かさから心の豊かさへの転換であり、心の豊かさは自然との触れ合いによって得る体験と、そこに住む人と

の触れ合いから生まれると確信する。

以上のような事から、いくつかの町づくり企画を上げてみたい。

第一に、鼻毛池周辺（大島村を含む）に、オートキャンプ場と乗馬コースの併設を行い、キャンプをしながら乗馬を楽しむ平坦コースから、地名鼻蔵り（鼻毛）に相応して起伏の激しい難所コースを設け、武將逞しく馬を走らせた自然の地形を体験してもらう。

第二に、須山地区を松之山町カルチャーゾーンとして、センターを建設し文化芸術作品の展示・交流を行い、松之山町の生活文化・自然知識（町の生物観察等）の啓蒙と高揚を行い、更に林間を散策する遊歩道兼ジョギングコース（八〜十km）を整備し、冬期間はクロスカントリーコースとして利用する。

第三に、現在進められているふるさと体験交流館を主体に、農業体験ゾーンとして整備し、食の安全を求めた環境知識を農業体験により、農業を学ぶ楽しみ・作る楽しみ・食べる楽しみ、さらに小動物を飼育する楽しみなど、年間を通した体験サイク

ルを組み、自然の中の食と生活の体験を深める。（もちろん雪国の生活体験も行う）

第四に、山野草園と自然友の会を主体に、「山野草なんでもこいッア」の実施を企画し、山野草による自然への楽しみ・見つける楽しみ・収穫の楽しみ・料理の楽しみ・食べる楽しみ・振る舞う楽しみを体験してもらい、自然志向・健康志向を体得してもらう。

第五に、大蔵寺高原及び菱ヶ岳線沿いの平坦区域を利用した第三セクターによる温泉掘削と緑地楽園（日本老人ドリームランド基地）ゾーンの整備を行い、総合的な町の観光施設地とする

と共に、浦田側（ひこ星）と天水越側（おりひめ）にホテルを集め、「日本銀座・ホテルの七夕舞in松之山」を企画し誘客を行う。

これらの第一〜四については、それぞれ三・四人〜十人位の人材育成とグループ構成により、月一回の企画から週一回の企画へと回数を増やすことによって、都市と農村の交流を深めると共に温泉利用客の増加・産地直送の農産物販路拡大へと、地域の活性化が期待される。

以上、働き……と言われる日本社会に於て、遊び心に掛け行政の人材育成と援助に期待したい。

11月は雇用保険さわやか
受給推進月間です

雇用保険の失業給付は、事業所を退職し、働く意思、能力がありながら、まだ仕事が見つからないときに、再就職のお手伝いをするを目的として支給されるものです。

したがって、働く意欲がない方や働くことができない方、また就職、就労を行った場合は支給を受けられません。

就職、アルバイト、内職等働いた場合は正しく申告してください。

正しい申告をしなかった場合は、不正受給として厳しい処分をうけます。

この機会に雇用保険制度を正しく理解し、不正受給をなくしましょう。

また、相談・お問い合わせについても、お気軽におたずねください。

上越公共職業安定所安塚分室（☎2-2039）

—— こんなとき こんな年金が受けられます ——

国民年金には、全国民に共通の給付として①老齢、②障害、

③遺族の基礎年金、また、第一号被保険者（自営業者や学生など）の独自給付として④付加年金、⑤寡婦年金、⑥死亡一時金があります。

①老齢基礎年金

②障害基礎年金

③遺族基礎年金

④付加年金

⑤寡婦年金

⑥死亡一時金

国民年金保険料を納めた期間や免除を受けた期間を合わせて、原則として二十五年から四十年ある人に、六十五歳から支給します。

国民年金に加入している間に病気やケガをして、障害の程度が一級または二級の障害者になったときに支給します。

また、国民年金をやめたあとでも、六十歳以上六十五歳未満の間に初診日のある病気やケガで障害者になった場合は、支給することになっています。

国民年金に加入している人や老齢基礎年金の資格期間を満たした人がなくなったとき、その

人の妻または子に支給します。

付加保険料を納めていた人が老齢基礎年金を受けるとき、老齢基礎年金に加算して支給します。

老齢基礎年金の資格期間を満たした夫が年金を受けないで死亡したとき、その妻に六十歳から六十五歳までの間支給します。

保険料を三年以上納めた人が年金を受けないうちに亡くなったとき、その遺族に支給します。ただし、その人の死亡によって遺族が遺族基礎年金を受けられる場合は、死亡一時金は支給されません。

くわしくは、役場の年金係までお問い合わせください。



警察からのお願い

1 犯罪捜査にご協力を！

最近、幼児等を対象とした誘拐事件をはじめ、殺人・強盗などの凶悪事件が多発しており、事件解決には皆さんのご理解とご協力が必要です。

ことでも結構ですからぜひ警察にお知らせください。

2 暴力団をしめ出せ！

暴力団を社会からしめ出すためには、県民の皆さんが結束して「暴力団が活動できない社会環境づくり」を強力に推進することが必要です。

実施しています。

警察では、社会の敵暴力団を根絶するため、「暴力三ない運動」を推進し、強力な取締りを

暴力団の脅しや嫌がらせに泣き寝入りすることなく、みんなが暴力団を追放しましょう。

暴力三ない運動

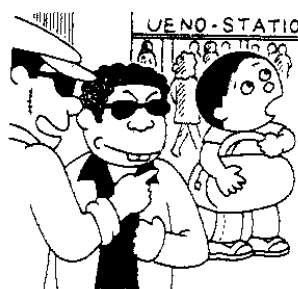
- 暴力団を恐れない
- 暴力団に金を出さない
- 暴力団を利用しない

3 指名手配犯人の検挙にご協力を！

殺人・強盗などの凶悪な犯罪や窃盗・詐欺などの犯罪を犯し、全国の警察から指名手配され、逃走している者は約三、四〇〇人に上っています。

逃走している犯人の多くは、

身分を偽るなど巧みな方法で社会のどこかに潜伏しています。指名手配犯人に似ている者を見かけたり、あるいは噂を耳にした場合は、ぜひとも警察にお知らせください。



公民館 だより

公民館 ☎ 6-2265

— 802 —

郡ゲートボール大会

十月二十一日町民グラウンドで、第五回東頸城郡ゲートボール選手権大会が行われました。

郡内六町村から三十チームが参加し、松之山町からは六チームが出場しました。

午前は十のブロックに分かれて予選リーグを行い、同一町村のチームが同じブロックにならないよう配慮されました。

一つのコートに二つのブロックが使用するので、予選は昼食時間をとらずに午後一時過ぎまで続きました。

松之山町から出場した六チー

ムのうち四チームが決勝トーナメントに進み、地元の力を他町村に見せつけました。

決勝トーナメントの一回戦で菱里に勝った黒倉キングスは、二回戦で浦川原Cに負けてしまいました。

二回戦で平成（黒倉）と川手Aが対戦し平成が勝ちましたが、準決勝で浦川原Dに負けてしまい、三位決定戦に進みました。

松之山は二回戦・準決勝と勝ち進み、決勝戦は浦川原Dと対戦し二十三対十四で惜しくも負けてしまいました。

なお、参加チームの実力差はほとんどなく接戦が多かったようです。

優勝 浦川原Dチーム
準優勝 松之山チーム
三位 平成チーム

第二ゲート付近に集まった味方の玉を、一つ一つスパーク打撃で通過させました



スキー協会文部大臣表彰

十月四日、松之山スキー協会が社会体育優良団体（クラブの部）として文部大臣表彰を受け、東京で行われた表彰式には柳晴治会長が出席しました。

松之山スキー協会は昭和二十四年四月に設立され、次の活動成果が受賞に結びつきました。

①冬期間における唯一のスポーツとして積極的な普及活動に取り組んでいる。
②松之山スキー競技大会など大きな大会を長期間開催している。
③協会による大会の企画・運営等が他のクラブの模範となり、活動も年々活発化している。

東頸城郡美術展で多数入賞

十月十八日から二十日まで、牧村民体育館で第十回東頸城郡美術展覧会が開催されました。

松之山町からも多数出品され、大変高い評価を受けました。

特に絵画部門・書道部門の活躍はめざましく、書道部門の奨励賞は独占してしまいました。

また、絵画部門の草村慶子さん・友明さんは親子で奨励賞を受賞しました。

出品数が一番多い写真部門でも、佐藤明彦さんが見事奨励賞を受賞しました。

郡美術展に出品された作品は町美術展にも展示され、多くの方々から鑑賞していただきました。

松之山町関係郡美術展入選者

▼絵画部門（奨励賞）

湯山 草村慶子「日を浴びて」

湯山 草村友明「自画像」

▼書道部門（奨励賞）

田麦立 本山一夫「李白詩」

天水島 高橋千津「風信帖臨」

天水越 高橋トメ「劉長卿詩」

▼写真部門（奨励賞）

藤内名 佐藤明彦「夏休み」

山留生収穫祭

山村留学生の方々に由る収穫祭・バザーが行われます。

日用雑貨・文具・食器・衣類食品などが超特価で販売される予定です。

また、山村留学生による太鼓や民舞の発表もあります。

おでん・焼きそば・焼き鳥など、子供たちも十分楽しめますので、家族そろって収穫祭にご来場ください。

日時 十一月十七日（日）、午前九時三十分～十一時
場所 旧浦田中学校体育館

郡中学校駅伝大会

男子は優勝・女子は二位

第二十八回（女子第五回）郡中学校駅伝大会が十月三日行われ、男子は県立松代病院前をスタートし安塚中学校ゴールの九区間、女子は大島村役場前をスタートし安塚中学校ゴールの四区間で健脚を競いました。

男子は十二チームが参加し、予想通り松之山Aと安塚Aの争いとなりました。

中盤以降は逃げる松之山Aを安塚Aが必死で追いかけて、あと一步のところまで迫りました。

女子は十チームが参加し、男子と同じく松之山Aと安塚Aの争いとなりましたが、安塚Aがわずかに五秒差で優勝しました。

また、一区を走った田宮晃子さんは十二分二十七秒の大会新記録を出しました。

▼男子成績 時間・分・秒

優勝 松之山A 1・49・00

準優勝 安塚A 1・49・29

三位 牧A 1・53・20

五位 松之山B 1・55・48

十位 松之山C 2・02・06

▼女子成績 時間・分・秒

優勝 安塚A 57・26

準優勝 松之山A 57・31

三位 牧A 58・08

六位 松之山B 1・01・43

松之山町からは、松之山中学校の小林辰男先生、下蝦池出身の相沢義和さん、湯本出身の福原基裕さんが出場し、三位入賞の大きな原動力となりました。

区間成績は次のとおりです。

▼第五区（米山→柏崎）

一位 相沢義和 42分09秒

上越地区

中学校駅伝大会

十月二十二日、上越地区中学校駅伝大会が行われ、男子は三十一チーム・女子は二十八チームが参加しました。

松之山中学校からは郡大会と同じく、男子三チーム・女子二チームが出場しました。

男子の松之山Aは一時間二十八分四秒で五位入賞を果し、十一月九日新潟市で開催される県大会に出場することが決まりました。

県大会も頑張ってください。

県縦断駅伝で松之山の選手が大健闘！

十月十九日・二十日に行われた県縦断駅伝大会（新井市→新潟市）で、東頸城チームが十時間三十九分三十三秒の大会新記録で堂々三位に入賞しました。

今年の東頸城チームの前評判は高く、あと十七秒で二位の新潟チームを抜くところでした。

松之山町からは、松之山中学校の小林辰男先生、下蝦池出身の相沢義和さん、湯本出身の福原基裕さんが出場し、三位入賞の大きな原動力となりました。

区間成績は次のとおりです。

▼第五区（米山→柏崎）

一位 相沢義和 42分09秒

福祉人材確保のために

新潟県福祉人材情報センターでは、今後必要とされるホームヘルパー等の在宅福祉従事者や福祉施設の寮母等従事者を確保するため、県内各地で各種の講習会等を開催するなどして人材の掘り起こしや養成を図るとともに、福祉サービスへの就業を希望する人材の登録を行い、福祉サービス実施機関への斡旋を行っています。

〇二五―二三三―一〇六四

ご協力ください

モチ米一握り運動 タオル一本

町婦人会では「歳末助け合い運動」の一環としてモチ米とタオルを集め、松之山町の方々が入所されている県内の各福祉施設に贈っています。

施設ではこの米で「餅つき大会」を計画したり、毎日使用するタオルは大切に使用されていると聞かれます。

今年も皆さまの善意をお寄せいただき、できるだけ多くの施設にモチ米とタオルを贈りたいと思います。

つきましては、下記の期日及び場所にてモチ米とタオルを入れる箱を用意いたしますのでご協力をお願いします。

なお、婦人会に加盟している集落につきましては、例年通り役員が各戸を回らせていただきます。

▼期日 十一月二十一日（木）

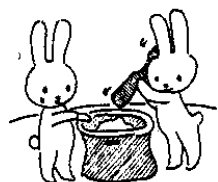
▼場所 役場・農協松里支所

小谷干場さん宅

布川防雪センター

坪野福石屋さん宅

浦田克雪センター



お知らせ

スパイクタイヤの使用が制限されます

昨年、スパイクタイヤの使用により発生する粉じんを防止する法律が制定され、環境庁長官が指定する地域では、平成三年四月一日から、スパイクタイヤの使用が禁止になりました。

また、タイヤメーカーもその日以降、スパイクタイヤの販売を全面的に中止しました。

▼スパイクタイヤの使用が規制される地域（指定地域）

新潟県の場合、平成三年二月二十五日付けで、九十九市町村が指定地域として指定されました。

松之山町は指定地域から除外

されましたが、近隣の市町村の中には指定地域に指定された所も多くあります。

たとえば、十日町市・上越市などは指定地域ですので、スパイクタイヤで行くことはできません。

松之山町に隣接する町村で、スパイクタイヤのまま行けるのは次の町村だけです。

松代町・大島村・安塚町・津南町の四町村。

平成四年四月一日からは、指定地域内の積雪または凍結状態にない舗装路面をスパイクタイ

国の教育ローンのご案内

◇融資額 学生・生徒一人につき一五〇万円以内（在学中の費用については五〇万円以内）

◇使いみち 入学時の費用・在学中の費用（授業料・下宿代・通学費など）

◇利用いただける方

大学・短大・高校・高専・専修学校・各種学校・予備校など

に入学・在学される方の保護者

◇利率 年七・七%

◇返済期間 大学・高専などは六年以内、高校・短大・専修学校などは五年以内

くわしくは、国民金融公庫高田支局へお問い合わせください。

☎〇二五五―二四―二三四〇

新潟県最低賃金

新潟県最低賃金が10月1日より下記のとおり改正されました。

日 額 4,184円(引上額196円)
時間額 523円(引上額 24円)



ヤで走行すると、十万円以下の罰金が科せられることになり、今年冬の冬からは、できるだけスタッドレスタイヤを使用しましょう。

短歌

今朝部落の無人市場の売り物は

芋に大根南瓜ごろごろ

芋の子を親から離すばきばきと

芋豊年と言はるる秋ぞ

月夜にも木の葉を降らす大櫓

むささびの鳴く産土神の森

小 谷 鈴木 俊一（榮屋）

原生の樺の林は紅葉して

燃ゆるが如く我が目射つなり

上昇の気流に乗りて大空を

輪を描きつつサシバが渡る

松之山 丘山 司郎（高校）

俳句

猫額の田毎の稲は刈られけり

虫の音も途切れ途切れに夜寒かな

松之山 丘山 司郎（高校）

川柳

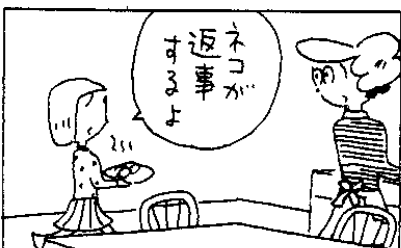
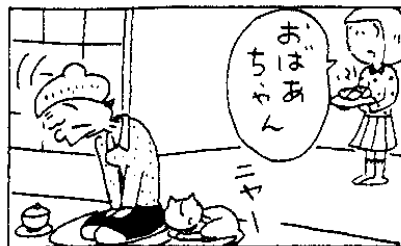
此の一戦手技きを悔む友え詫び
渡らずに旧友峠を越えたとか

黒 倉 草村 正孝（一枚田）



さわやか君

西村 宗



停電のお知らせ

11月11日(月) 午後1時 ~ 3時30分まで
湯山集落の大部分



ターン登録制度 をご存じですか

“県外で活躍されている御子弟をお持ちの皆様へ”

ハローワーク上越(上越公共職業安定所)では、“県内雇用促進”の一環として「Uターン事業」を重点施策に掲げ、積極的に事業の推進を行っております。

この登録制度は、Uターンを希望される方に対し、地元企業の求人情報の提供や、就職あっ旋を行う制度です。

“一人でも多くUターンを”を合い言葉として総力をあげて取り組んでおり、また地元企業も人手不足の解消策として大いに期待と注目を寄せています。

今一度、お子さん達とよく連絡・ご相談いただき、ぜひ登録を勧奨くださいますようお願いいたします。

登録手続きは、各市町村に設置されている「Uターン情報コーナー」もしくはハローワークに「Uターン登録カード」を用意してありますのでご利用ください。

また、文書や電話による受付も行っていますので、気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ・連絡先

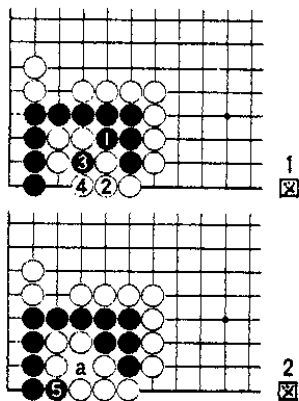
ハローワーク上越(上越公共職業安定所)

〒943 上越市大字大豆 上越地方合同庁舎 ☎0255-23-6121

ハローワーク安塚(安塚分室)

〒942-04 安塚町大字安塚 ☎02559-2-2039

1 図(正解1)
詰碁は形よりもヨミがものをいう分野です。愚形でも黒1と打つのが必殺の一手。これでも打つても、白三子は助からない運命です。白2のツギには、黒3のホウリ込みをお忘れなく。白4の取りを待つて—、
2 図(正解・続)
黒5とアテれば白はaとツゲず、一件落着。

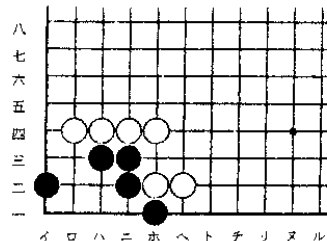


正解者

村山 伸(湯 本)

久保田光栄(天水島)

10月号の答え



黒先生き(1手だけ)

詰碁の解答を募集しています。11月27日までにハガキなどで広報担当まで
正解者には粗品を進呈

詰碁

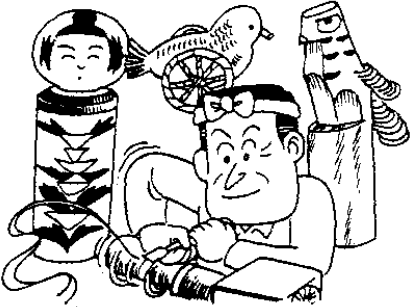
有段をめざして

土曜閉庁

11月9日・23日(祝日)

12月14日・28日

※出生・死亡・婚姻の届はできます



伝統工芸品月間

戸籍の窓

おくやみ(死亡)

(死亡年月日)

田辺 広文さん 39歳(松之山) 二枚田

3・10・1

吉川コトエさん 74歳(湯 本) 吉村屋

3・10・2

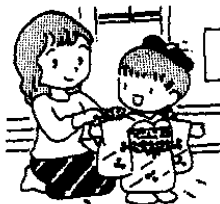
高橋勘次郎さん 84歳(大荒戸) 吉賀屋

3・10・23

※10月1日から31日までの届出分です。

27日 リハビリ教室(さわやか)
17日 町民バレーボール大会
13日 ター竣工式
6日 下布川コミュニティセン
2日 農業委員会総会
28日 婦人バレーボール大会
27日 農業祭・芸能祭
26日 もみじマラソン
25日 小中芸能発表交歓会
24日 町美術展(28日まで)
23日 農業祭・芸能祭
22日 町美術展(28日まで)
21日 松之山駐在所竣工式
20日 東部地区へき地教育指導
19日 者講座(25日まで)
18日 安吾祭り(一人芝居公演)
17日 行政相談
16日 郡美術展(20日まで 牧村)
15日 典(管弦楽団来演)
14日 商工会創立30周年記念式
13日 駅伝大会・健康マラソン
12日 きのこ狩り大会(10日も有)
11月 きのこ狩り大会(10日も有)
10日 農業委員会総会
9日 きのこ狩り大会(10日も有)
8日 きのこ狩り大会(10日も有)
7日 きのこ狩り大会(10日も有)
6日 きのこ狩り大会(10日も有)
5日 きのこ狩り大会(10日も有)
4日 きのこ狩り大会(10日も有)
3日 きのこ狩り大会(10日も有)
2日 きのこ狩り大会(10日も有)
1日 きのこ狩り大会(10日も有)

こよみ



こよみ

▼10月のできごと

山々を彩っていた紅葉も散り始め、冬仕度の忙しい季節を迎えました。
今年の紅葉は長雨の影響であまり美しくなく、楽しみにしていた方はがっかりしたところと思います。
野菜の出来も心配ですが、越冬用の野沢菜やタクアン大根ぐらゐは十分な収穫量がほしいですね。
日に日に寒くなってきましたが、カゼなどをひかないよう健康には十分注意してください。
佐藤

編集後記

十一月一日の人口
総人口/三、七六三(▲二)
男/一、八三八(▲二)
女/一、九二五(○)
世帯数/一、一六四(○)
(内は十月一日との比較
▲は減
○は増)

広報まつのやま十一月号
平成三年十一月十一日発行
発行/新潟県松之山町
六六三三三三
編集/総務課

ぼくの絵 わたしの絵 安高松之山分校



1 年

福原政男くん
(天水越 桶屋)



1 年

西野 勉くん
(曾根 市兵工)



文化祭に展示する文化祭のポスターを16時間かけて描きました。
顔の表現や躍動感を出すのに苦労しました。
二人とも野球が好きで、福原くんは巨人、西野くんは阪神のファンだそうです。